

深川えんみち

多世代が集い、生活を自ら考え、体験を共有する小さな拠点

高場から、みんなが集う生活の拠り所へ

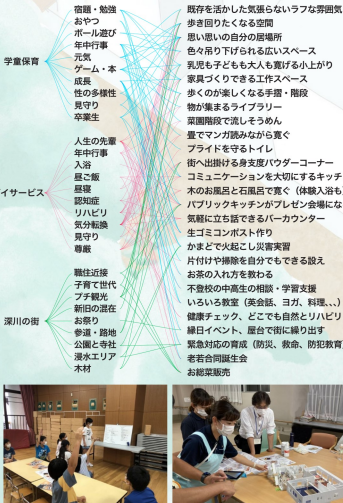
趣ある参道や路地が残る、祭りも盛んな下町・東京都江東区深川。道を自在に使いこなすこの街で、建物の中に道を引き込み、多世代が集い、生活を考えるきっかけとなる場所を作り出す。

私たちが目指すのは、従来の福祉施設を分解・再構築し、緩やかな繋がりや豊かな学びのある場をつくることである。

用途は1階にデイサービス、2階に学童保育を配置。一部では幼児の子育てひろばを行います。1階を土足仕様とし、外階段を増築。仕切りを極力無くすることで、全体の回遊性を向上させ、キッチン、工房、ライブラリ、菜園など、体験のきっかけを随所に設けます。加えて、通りに面して「まちキッチン」を計画します。料理教室や総菜作り、様々なイベントにより、外の人を積極的に引き入れ、新たな出会いを生み出す地域に開放できる施設です。

用途に縛られない多様な運営で、トライアルしながら地域に開き、人と街を徐々に変えていく、出発点としての「緑」の道です。

要素を分解・再構築し、新しい空間と運営を考える



大らかなゾーニングにより、多様な場がゆるやかに繋がるオープンな空間



深川えんみちの5つの設計ポイント

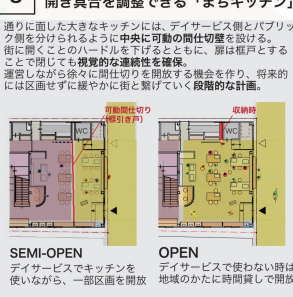
1 街を引き込む路地的回遊空間



2 DIVERSITY 多様な価値観が集い交わる場



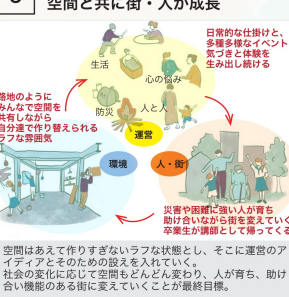
3 ADJUSTABLE 開き具合を調整できる「まちキッチン」



4 TRIAL 体験を生み出す家具的な設え



5 GROWING 空間と共に街・人が成長



地域と人の繋がりをもとにした運営体制



街を引き込む二つの立面

<北側立面> 通りからのぞき込めるフルオープンな開口



<南側立面> 菜園が上へと上っていく「菜園階段」

